豊田工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語Ⅰ甲B

科目基礎情報

科目番号	01221	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	建築学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	『現代の国語』(第一学習社) ／『パスワード級別漢字』(浜島書店)、『常用国語便覧』（浜島書店）、国語辞典		
担当教員	山口 比砂		

到達目標

(ア)常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。語彙の意味を理解し、思考や表現に活用できる。
(イ)文学的な文章に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を表明できる。
(ウ)論理的な文章の構成や展開を的確に捉え、キーワード・キーセンテンスに着目して要約できる。
(エ)論理的な文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて、自分の意見を表明できる。
(オ)課題に応じ、他者の立場を尊重しつつ根拠に基づく議論を行い、自分の考えや集団としての思いを整理できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。語彙の意味を理解し、思考や表現に活用できる。	常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。	常用漢字の音訓を正しく読み書きできない。
評価項目(イ)	文学的な文章に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を表明できる。	文学的な文章に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取れる。	文学的な文章に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取れない。
評価項目(ウ)	論理的な文章の構成や展開を的確に捉えて要約し、論拠を検証を踏まえて自分の意見を表明できる。	論理的な文章の構成や展開を的確に捉えて内容を正しく理解できる。	論理的な文章の構成や展開を的確に捉えて内容を正しく理解できない。

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ④ コミュニケーション能力

教育方法等

概要	現代文を教材に用いて、読解と鑑賞とを行う。また、常用漢字の読み書きなどの言語運用能力を高める。
授業の進め方・方法	小説の洗練された文章を読むことを通じて、話のおもしろさ、比喩表現の効果、語彙の豊かさを味わい理解する。論理的な文章を読むことを通じて、論理的な展開の方法を把握し、内容を理解する。漢字の学習や辞書の活用を習慣化し、語彙を増やす。日常的に活字に親しむ。
注意点	読書を通して、日本語の語彙を増やすよう努力すること。

選択必修の種別・旧カリ科目名

選択必修（国）

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

必履修

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス（今期の到達目標の提示と学習時の注意点を確認する）	今期の到達目標と学習時の注意点を理解できる。
		2週	文学的な文章の読解と鑑賞 1（物語構造の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の物語構造を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		3週	文学的な文章の読解と鑑賞 2（場面や登場人物設定の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の場面や登場人物設定を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		4週	文学的な文章の読解と鑑賞 3（効果的な表現技法の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の効果的な表現技法を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		5週	文学的な文章の読解と鑑賞 4（登場人物の心理描写の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の登場人物の心理を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		6週	文学的な文章の読解と鑑賞 5（人物の心理描写の考察）・常用漢字の学習	文学的な文章の登場人物の心理を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		7週	文学的な文章の読解と鑑賞 6（主題の考察と意見文の作成）	文学的な文章の主題を考察し、自分の思いや考えを整理して表明することができる。
		8週	論理的な文章の読解 1（文章構成の考察）・常用漢字の学習	論理的な文章の構成を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
	4thQ	9週	論理的な文章の読解 2（論理展開の考察）・常用漢字の学習	論理的な文章の論理展開を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		10週	論理的な文章の読解 3（キーワード・キーセンテンスの把握）・常用漢字の学習	論理的な文章のキーワード・キーセンテンスを理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		11週	論理的な文章の読解 4（キーワード・キーセンテンスの把握）・常用漢字の学習	論理的な文章のキーワード・キーセンテンスを理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		12週	論理的な文章の読解 5（各段落の要旨の把握・要約）・常用漢字の学習	論理的な文章の各段落の要旨を把握し、要約できる。常用漢字を正しく読み書きできる。
		13週	論理的な文章の読解 6（主題の考察・意見文の作成）	論理的な文章の主題を考察し、自分の思いや考えを整理して表明することができる。
		14週	読書体験の言説化（文章作成法の理解）	読書体験を言説化し、自分の考えや思いを表現する方法を理解できる。
		15週	まとめ（今期の学習内容・学習成果を振り返り、整理する）	今期の学習内容・学習成果を振り返り、整理できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	後8,後9,後10,後11,後12
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	後13
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	後2,後8
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	後2,後8
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後7,後13,後14
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後7,後13,後14
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	後7,後13,後14
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	後7,後13,後14

評価割合					
	中間試験	定期試験	課題	小テスト	合計
総合評価割合	30	45	15	10	100
基礎的能力	30	45	15	10	100